様式１号
（総括票）

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1　事業者等の概要

氏名又は名称	小諸倉庫株式会社			
代表者名	氏名	篠崎友宏	役職名	代表取締役
主たる事務所の所在地	長野県小諸市赤坂2-3-1			
主たる事業の分類	大分類	M 宿泊業、飲食サービス業		
	中分類	７５ 宿泊業		
主たる事業の概要	倉庫業、ホテル業			
制度に該当する要件	☐	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者		
	☐	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者		
	☐	条例第12条第1項第2号に該当する事業者		
	☑	上記以外（任意提出）の事業者		

		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	kl	115.46	110.00	128.30		
ｴﾈﾙｷﾞｰ起源二酸化炭素排出量	t-CO_2	219.79	215.00	244.02		
その他ガス排出量合計	t-CO_2					
自動車の台数	台	0		0		
自動車からの排気ガス合計	t-CO_2					

2　基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2021	年度
報告対象年度	2022	年度

計画期間	2022　年度～　2022　年度

3　計画書（報告書）の公表方法等

☐	ホームページ	閲覧場所　ホテルナガノアベニュー館内、窓口　総務課、閲覧時間　9：00～17：00　土・日・祝日を除く【連絡先】長野市南千歳2-8-5　026-223-1123
☑	印刷物の閲覧	
☐	その他	

様式１号
（総括票）

４　温室効果ガス排出抑制のための基本方針

地球環境、資源の保護を推進し、環境保全活動の質の向上を図る。1.環境関連の法令、規範を順守し、環境保全及び環境汚染の防止に取り組みます。　2.事業活動において環境への影響を監査し、環境保全、廃棄物の減量等を推進し、資源・エネルギーの有効活用に努める。　3.環境負荷低減を図る資材等の積極的採用を図る。　4.社員全員に環境配慮に向けた教育を定期的に行う。5.所在地域と協力しながら環境保全や資源リサイクル等に注力する。

５の１　温室効果ガス排出抑制のための組織体制

代表取締役
｜
温暖化対策責任者
（常務取締役）
｜
計画書提出責任者

５の２　温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

温暖化・資源検討会議　年間２回

様式１号
（総括票）

６の１　エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基　準　年　度	基準排出量	219.79	t-CO_2	ホテル客室稼働率	60.00	単位	%
2021　年度	調整後排出量	219.79	t-CO_2	基準原単位	3.66	t-CO_2/	%
目　標　年　度	目標排出量	215.00	t-CO_2	目標原単位	3.57	t-CO_2/	%
2022　年度	目標削減率	2.17	%	目標削減率	2.50	%	
目標設定に関する説明	今年度実施の高効率トランス及び蛍光灯照明器具の更新工事を実施することにより2.5%以上の削減を目指す。						
第一年度	排出量	244.02	t-CO_2	ホテル客室稼働率	74.90	単位	%
	削減率	-11.03	%	原単位	3.26	t-CO_2/	%
2022　年度	調整後排出量	244.02	t-CO_2	原単位削減率	10.92	%	
	削減率	-11.03	%				
排出量等の増減理由	2023年1月末までに高効率トランス、蛍光灯照明を全てLED化工事が終了したが、ホテル2施設が前年と比較すると客室稼働率が増大したため機器更新による効果では補いきれない排出量となった。						
第二年度	排出量		t-CO_2	ホテル客室稼働率		単位	
	削減率		%	原単位		t-CO_2/	
－　年度	調整後排出量		t-CO_2	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO_2	ホテル客室稼働率		単位	
	削減率		t-CO_2	原単位		t-CO_2/	
－　年度	調整後排出量		t-CO2	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式１号
（総括票）

６の２エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基　準　年　度	基準排出量		$t\text{-}CO_2$			単位	
2021　　年度	調整後排出量		$t\text{-}CO_2$	基準原単位		$t\text{-}CO_2/$	
目　標　年　度	目標排出量		$t\text{-}CO_2$	目標原単位		$t\text{-}CO_2/$	
2022　　年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		$t\text{-}CO_2$			単位	
	削減率		%	原単位		$t\text{-}CO_2/$	
2022　　年度	調整後排出量		t-C02	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		$t\text{-}CO_2$			単位	
	削減率		%	原単位		$t\text{-}CO_2/$	
―　　年度	調整後排出量		t-C02	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		$t\text{-}CO_2$			単位	
	削減率		%	原単位		$t\text{-}CO_2/$	
―　　年度	調整後排出量		t-C02	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式１号
（総括票）

６の３　自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基　準　年　度	基準排出量		t-CO_2			単位	
2021　　年度				基準原単位		t-CO_2/	
目　標　年　度	目標排出量		t-CO_2	目標原単位		t-CO_2/	
2022　　年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO_2			単位	
				原単位		t-CO_2/	
2022　　年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO_2			単位	
				原単位		t-CO_2/	
－　　年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO_2			単位	
				原単位		t-CO_2/	
－　　年度	削減率		%	原単位削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

７　重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
Ⅰ～Ⅱ	Ⅰ-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	Ⅰ-2	エコドライブの励行						
Ⅲ	Ⅲ-1	次世代自動車の導入計画						
Ⅳ	Ⅳ-1	次世代自動車の導入						

様式１号
（総括票）

８　排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	区分番号	対策内容	計画		状況	
				実施予定年度	削減見込量（t-CO_2）	実施年度	推計削減量（t-CO_2）
1	エネ起	150103	高効率変圧器へ更新	2022		2022	
2	エネ起	150201	LED照明器具・ランプへ更新	2022		2022	
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							

９　自然エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
太陽光ソーラーパネル	ｋｗ	67.5	0	67.5		

様式１号
（総括票）

１０　県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績

（所、t-CO_2）

工場等の規模（原油換算エネルギー使用量）	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000kl以上								
1,500kl以上 3,000kl未満								
1,500kl未満	3	219.79	3	244.02				
合計	3	219.79	3	244.02				

１１　県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績

（t-CO_2）

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源CO_2				
CH_4				
N_2O				
HFC				
PFC				
SF_6				
NF_3				
合計	0	0	0	0

１２　次世代車使用台数等の導入状況

（台）

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車	0	0		
電気自動車	0	0		
燃料電池自動車	0	0		
クリーンディーゼル自動車	0	0		
その他（ハイブリッド等）	0	0		
合計	0	0	0	0
自動車総数	0	0		
次世代車導入割合				

様式１号
（総括票）

１３　交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	公共交通機関利用を促進
自転車の利用促進	2km以内は徒歩・自転車通勤
来客者の交通対策	なし
物流の合理化	なし

１４　環境配慮活動状況

環境配慮活動		活動内容の詳細		
		実施内容		実施年度
□	SDGs	長野県SDGｓ登録制度へ登録している		
□	環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している		
		名称		
□	TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）　支持を表明している		
□	グリーンボンド	グリーンボンドを発行している		
□	ESG投資	ESG対話プラットフォームに登録している		
□	SBT	SBT を策定済、またはコミットしている		
□	RE100	□	RE100にコミットしている	
		□	再エネ100宣言RE Action　へ参加している	
☑	その他	年間を通してのノーネクタイ実施		2021年度～

１５　自由記載欄

2022，2023年度に高効率機器導入を実施予定。電球式照明ランプ（白熱、蛍光灯タイプ）を既にLED機器に更新済み。倉庫事業部建屋屋上に売電用ソーラパネル設置済み。2022年度客室内使い捨てプラスチック製品の設置を取りやめ。複数泊客室の清掃実施を見送り、リネン類の交換抑制により取引先工場の水負荷の低減。既存大浴場活用において客室内ユニットバス使用の低減を図る。